

## 吉備の瓦窯（備前を中心に）

岡本芳明

## 【講座の概要】

日本の瓦生産は、崇峻元(588)年の飛鳥寺造営により始まり、造瓦技術が百済からもたらされたといわれる。初期瓦窯は、須恵器窯と同様の無階無段窖窯で、7世紀中頃から後半に有階有段の窖窯へ変遷する。8世紀に全国規模での国分寺造営が開始されると、それに伴って有床式平窯が導入されている。

吉備地域には、多数の瓦窯の存在が知られるが発掘調査が行われている事例は少ない。構造的特徴が判明している瓦窯について、備前を中心に備中、美作、備後の瓦窯を紹介する。

## ○賞田廃寺の瓦窯（岡山市中区賞田）

ドーム状の天井をもつ窖窯。賞田廃寺第V様式の瓦や須恵器を焼成した瓦陶兼業窯。奈良時代後半。

## ○幡多廃寺の瓦窯（岡山市中区赤田）

焼成室内には6条の分焰牀をもつ有床式平窯。瓦専業窯。平安時代後葉のほぼ12世紀末に操業。

## ○医王山東麓窯跡群2号窯（備前市伊部）

国史跡「伊部西大窯跡」周辺に所在。坊が谷窯跡として知られてきた窯。長さ約11mの半地下式窖窯。

瓦陶兼業窯で、平安時代後半から鎌倉時代初期の操業。平城宮系軒平瓦を香登廃寺に供給か。

## ○泉瓦窯跡（和気町泉）

分焰牀を備える特異な構造をもつ半地下式窖窯。瓦専業窯。焼成された軒平瓦が備前国分寺で出土。

万富東大寺瓦窯跡出土瓦と製作手法が類似。平安時代末から鎌倉時代初期に操業。

## ○万富東大寺瓦窯跡（瀬戸町万富）

鎌倉時代初めの東大寺再建瓦を製造した窯跡。4条の分焰牀をもつ有床式平窯と2条の分焰牀を持つ小型の有床式平窯が多数確認されている。大規模に瓦生産が行われていた。

## ○勘定口窯跡（瀬戸町塩納）

残存長約10mの窖窯。瓦が主体の瓦専業窯か？12世紀から13世紀頃に操業。

## ○不老山東口窯跡（備前市伊部）

国史跡「備前北大窯」周辺に位置。推定全長約40mの長大な窖窯。分焰柱があったとされる。北に隣接した同規模の窯跡とともに溝や土塁で囲まれている。瓦陶兼業窯で、室町時代に属するもの。

## ○清水廃寺の瓦窯（岡山市北区芳賀）

焼成途中で放棄された有床式平窯。時期は15世紀中頃から後半。

## ○二子御堂奥窯跡（倉敷市二子）

1・2号窯は半地下式無階有段窖窯。7世紀後半に日畑廃寺、8世紀には都宇郡の官衙関連遺跡へ瓦を供給。

平窯の4号窯は焼成していない窯か？3号窯では7世紀前半から9世紀頃まで断続的に須恵器を生産。

## ○山崎2号窯（浅口市金光町占見）

有床式平窯。占見廃寺に瓦を供給。8世紀中葉。

## ○亀山遺跡4号窯（倉敷市玉島八島）

半地下式無階無段窖窯。瓦の供給先は浅原寺か。亀山焼と兼業。12世紀末から13世紀前半。

## ○櫛原廃寺の瓦窯（美作市櫛原中）

有床式平窯。8世紀後半に築窯。

## ○三郎丸窯跡（広島県世羅郡世羅町）

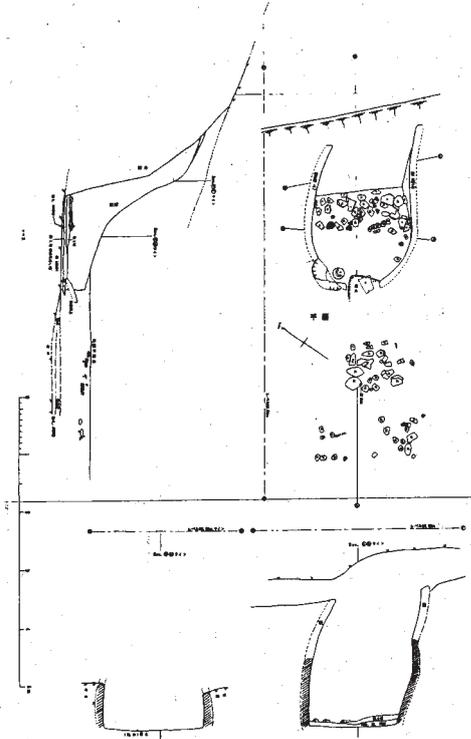
地下式有段構造の窖窯。康徳寺廃寺に供給か。8世紀前半？。

## ○亀井尻窯跡（広島県庄原市上原町）

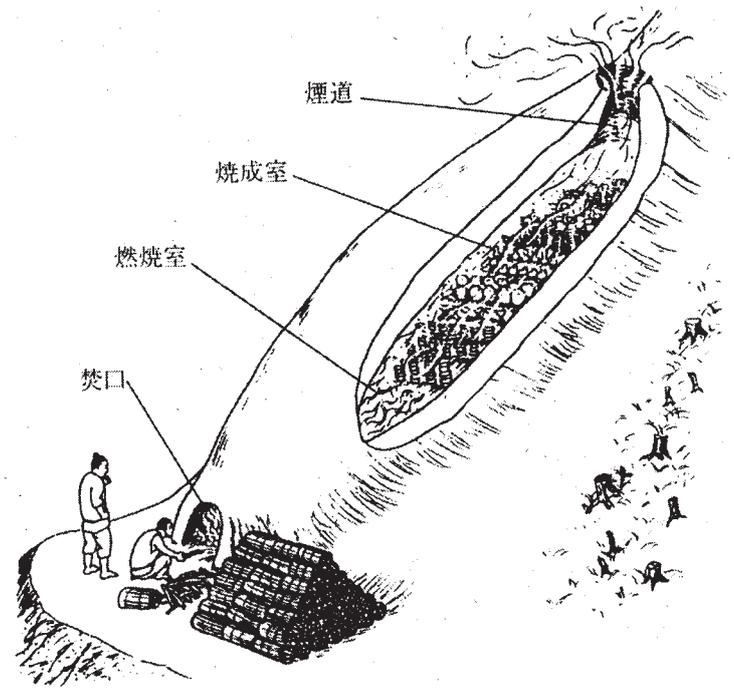
有床式平窯。波塔崎廃寺に供給か。8世紀中葉頃。

## 【引用・参考文献】

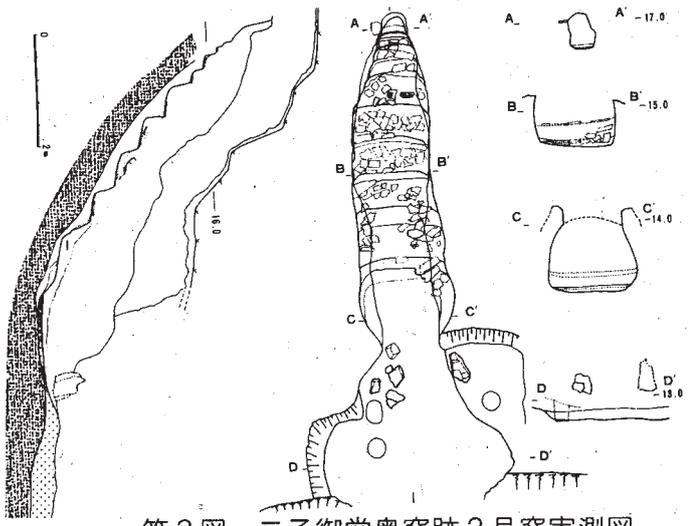
『賞田廃寺発掘調査報告』岡山市教育委員会 1971（図1）「不老山古備前窯跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告1』岡山県教育委員会 1972（図16）「二子御堂奥古窯址群の調査」『山陽新幹線建設に伴う調査Ⅱ』岡山県教育委員会 1974（図3・4）『幡多廃寺発掘調査報告書』岡山市教育委員会 1975（図9）『櫛原廃寺跡緊急発掘調査概報』岡山県教育委員会 1976（図8）『泉瓦窯跡・万富東大寺瓦窯跡』岡山県教育委員会 1980（図13・14）「亀山遺跡」『山陽自動車道建設に伴う発掘調査3』岡山県教育委員会 1988（図12）『古代の都と村』講談社 1989（図10）『長船町史 通史編』長船町 2001（図2）「清水廃寺」『岡山市埋蔵文化財センター年報4』岡山市教育委員会 2005（図17）『吉備の古代寺院』吉備考古ライブラリ 13 吉備人出版 2006 『医王山東麓窯跡群発掘調査報告書』備前市教育委員会 2012（図11）『窯跡研究 第3号』窯跡研究会 2015 『瓦窯の構造研究5』窯跡研究会 2015（図5・6・7）「勘定口4号墳・勘定口2号窯」『岡山市埋蔵文化財センター年報15』岡山市教育委員会 2016（図15）



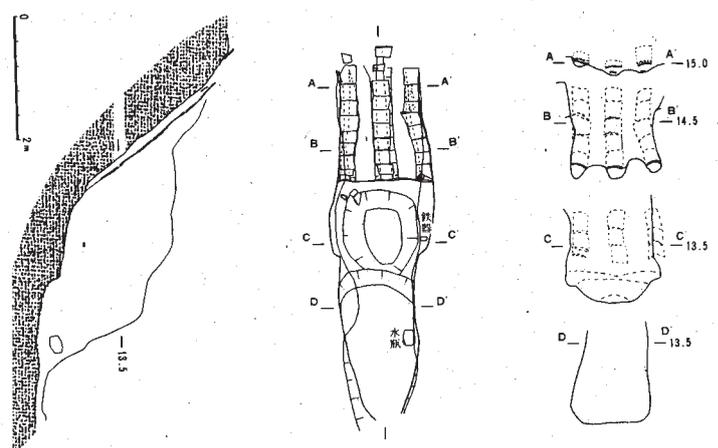
第1図 賞田廃寺の瓦窯実測図



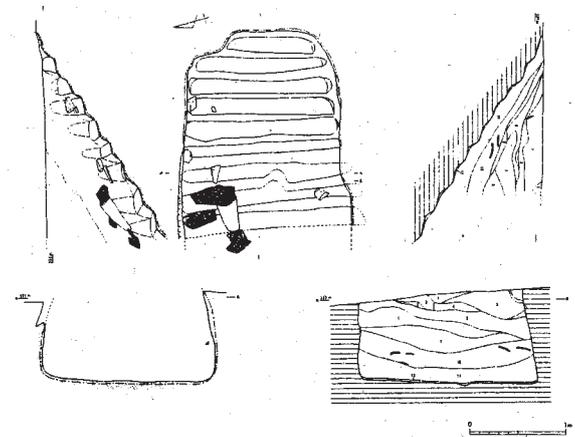
第2図 須恵器窯模式図



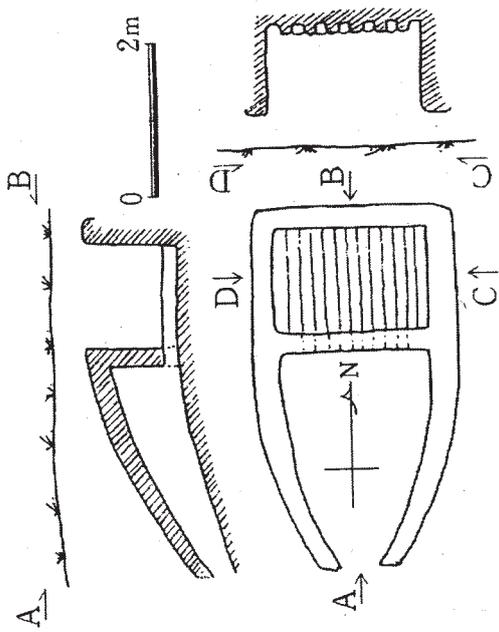
第3図 二子御堂奥窯跡2号窯実測図



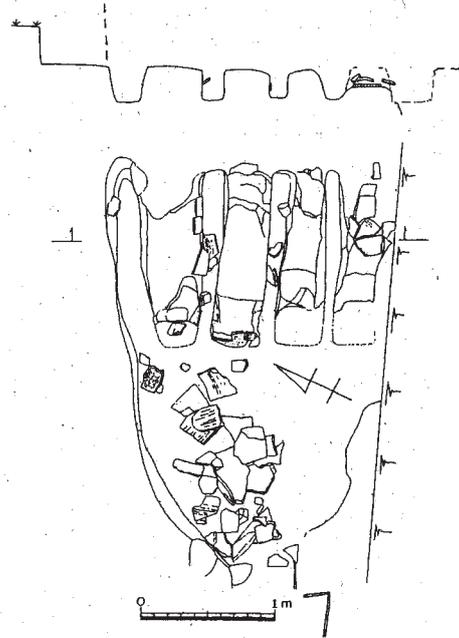
第4図 二子御堂奥窯跡4号窯実測図



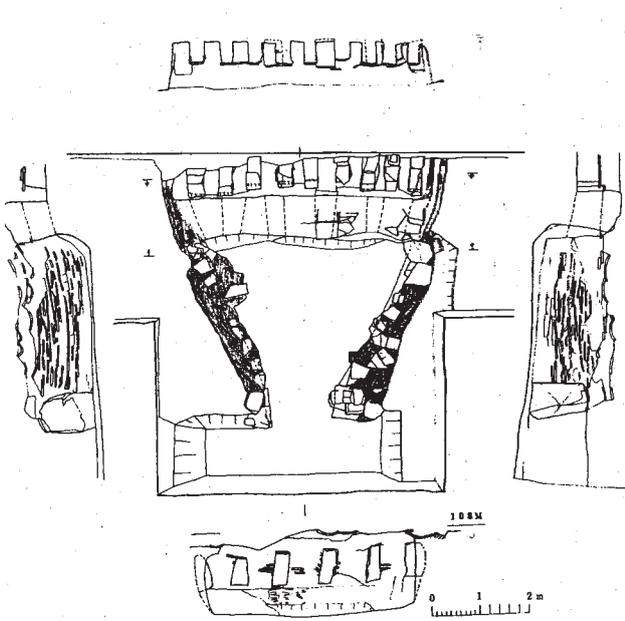
第5図 三郎丸窯跡実測図



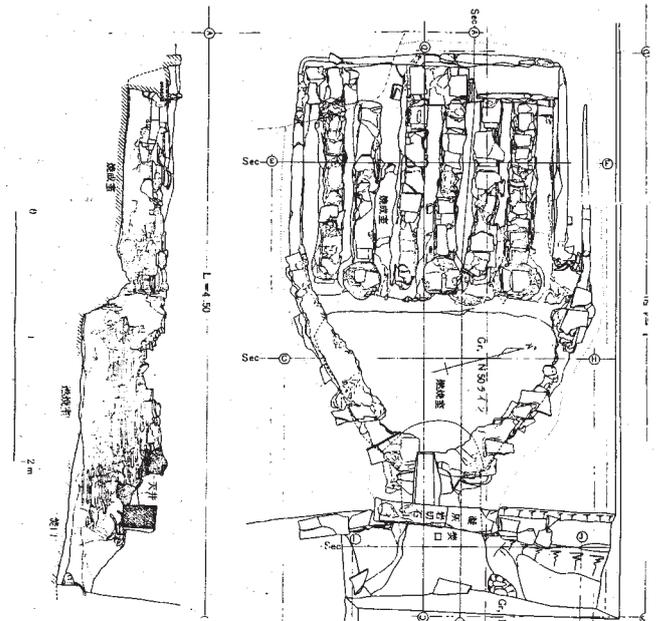
第6図 山崎2号窯跡実測図



第7図 亀井尻窯跡実測図



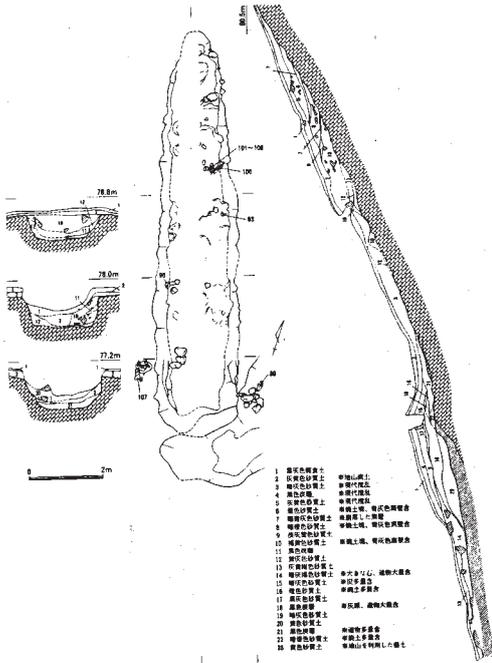
第8図 檜原廃寺の瓦窯実測図



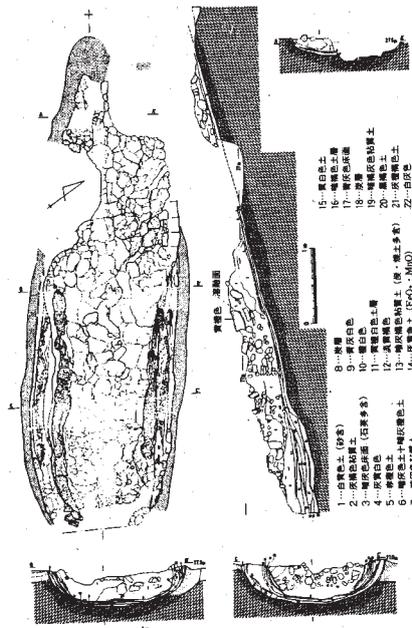
第9図 幡多廃寺の瓦窯実測図



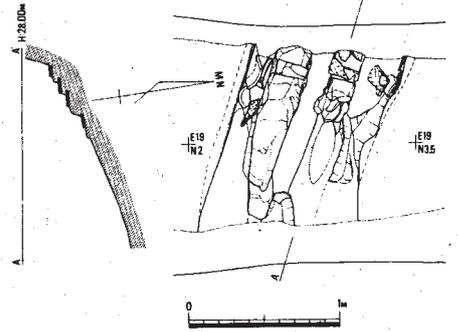
第10図 有床式平窯模式図



第11図  
医王山東麓窯跡群2号窯実測図

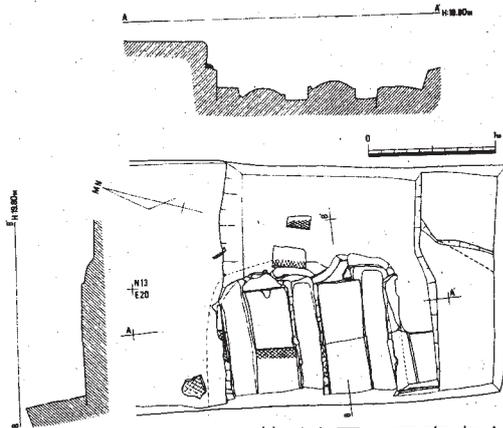
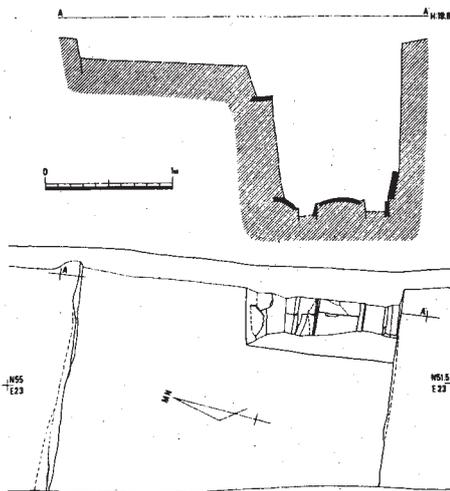
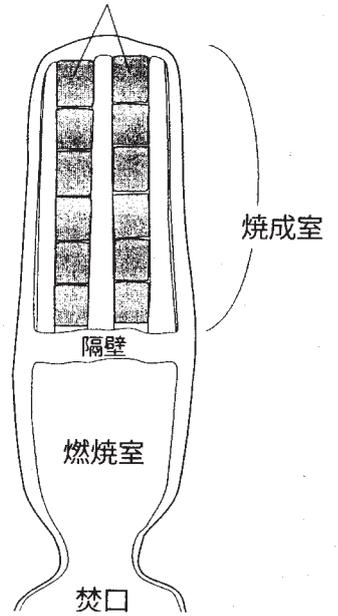


第12図  
亀山遺跡4号窯実測図

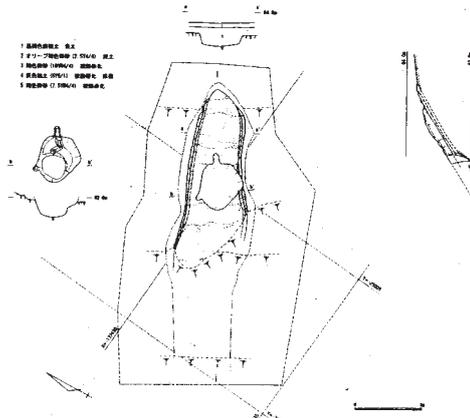


第13図  
泉瓦窯1号窯実測図

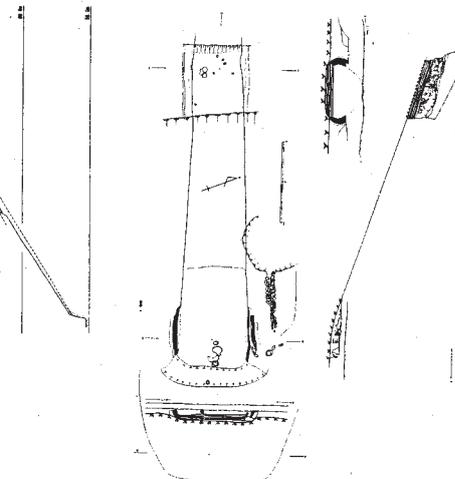
分焰牀(ぶんえんしょう)



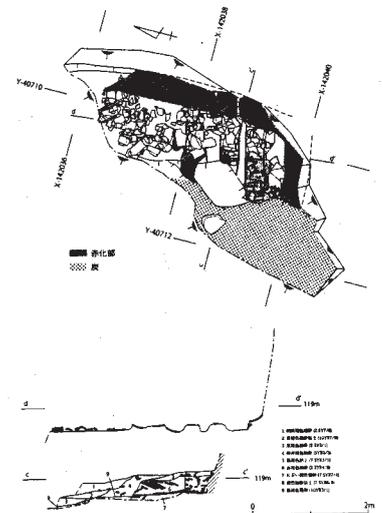
第14図 万富東大寺瓦窯跡  
2号窯実測図(中央)、13号窯実測図(左)、模式図(右)



第15図  
勘定口2号窯実測図



第16図  
不老山東口窯跡実測図



第17図  
清水廃寺の瓦窯実測図